

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）	
信託期間	5年間（2015年8月19日～2020年8月18日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	イ. ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）（以下「ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）」）といえます。）の受益証券 ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ. ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）（以下「ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）」）といえます。）の受益証券 ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	円建ての債券
運用方法	為替ヘッジあり	①主として、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）の受益証券を通じて、世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債、優先証券）（※）に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。 ※C o C o条項が付帯されているものを含みます。 ②当ファンドは、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）では、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。
	為替ヘッジなし	①主として、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）の受益証券を通じて、世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債、優先証券）（※）に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。 ※C o C o条項が付帯されているものを含みます。 ②当ファンドは、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。
マザーファンドの運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコモディティ・ペーパーに投資することを基本とします。	
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 マザーファンドの純資産総額の10%以下 株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売差益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

ダイワ新グローバル・
ハイブリッド証券ファンド
（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）

運用報告書（全体版）
第4期
（決算日 2017年8月18日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）」は、このたび、第4期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<5668>
<5669>

為替ヘッジあり

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税分		騰落率		公社債組入比率	投受組 資益入	信託証 証比率	純総 資産額
		込	金	期	中				
1 期末 (2016年2月18日)	円 9,541	円 130		% △3.3		% 0.0		% 99.1	百万円 10,832
2 期末 (2016年8月18日)	9,862	230		5.8		0.0	100.0	11,269	
3 期末 (2017年2月20日)	9,831	200		1.7		0.0	98.5	9,093	
4 期末 (2017年8月18日)	10,376	215		7.7		—	99.1	7,876	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含まず。

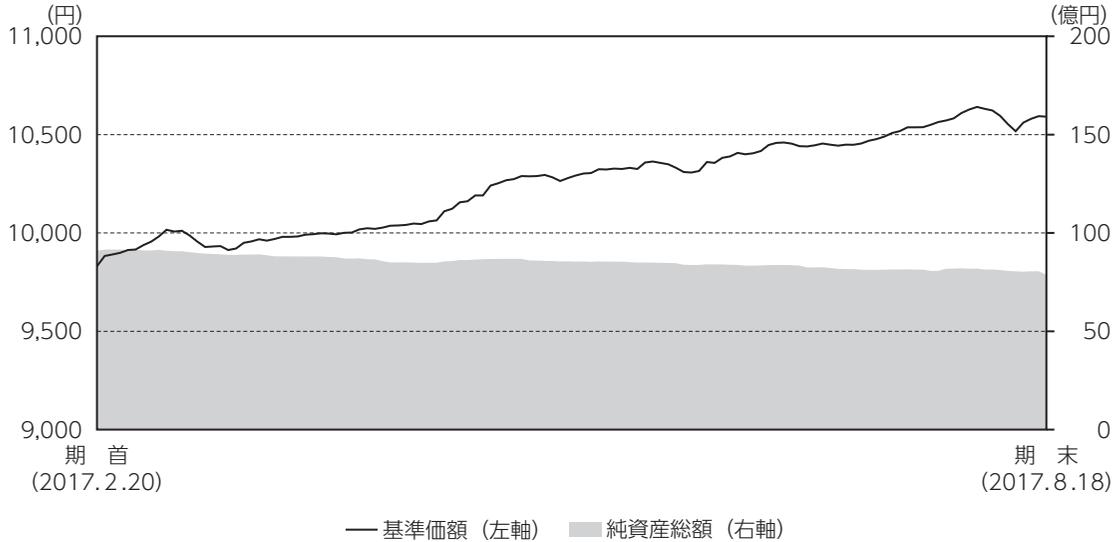
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■基準価額・騰落率

期首：9,831円

期末：10,376円（分配金215円）

騰落率：7.7%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

世界の金融機関（関連会社等を含みます。以下同じ。）が発行するハイブリッド証券に投資した結果、主にC o C o債（※）が堅調な推移となり基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※C o C o債とは、特定の条件下において強制的に投資家が損失を負担する条項（C o C o条項）が付帯されたハイブリッド証券（劣後債、優先証券）をいいます。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率	投 資 組 益 入	信 証 比	託 券 率
	騰 落	率				
(期首) 2017年2月20日	円 9,831	% -	% 0.0		% 98.5	
2月末	9,938	1.1	0.0		99.4	
3月末	9,994	1.7	-		99.3	
4月末	10,161	3.4	0.0		98.5	
5月末	10,325	5.0	0.0		99.4	
6月末	10,454	6.3	0.0		98.1	
7月末	10,572	7.5	0.0		97.4	
(期末) 2017年8月18日	10,591	7.7	-		99.1	

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017.2.21～2017.8.18)

金融ハイブリッド証券市況

金融ハイブリッド証券市況は上昇しました。

金融ハイブリッド証券市況は、期の初めより、F R B（米国連邦準備制度理事会）高官から利上げを示唆する発言が相次いだことで、2017年3月中旬にかけて下落する場面がありました。しかし、F O M C（米国連邦公開市場委員会）では市場の予想通り利上げが実施されましたが、今後の利上げペースについては市場が警戒するほどの積極的な内容とはならなかったことから上昇しました。また、フランス大手銀行のクレディ・アグリコルの永久劣後債のコールスキップ（期限前償還の見送り）が発表されたものの、同時に市場価格に近い価格での買い戻しが発表されたことから、金融ハイブリッド証券市場への影響は限定的となりました。その後は、トランプ米国大統領のロシアとの不透明な関係をめぐる疑惑への懸念が高まったことで下落する場面があったものの、世界的に株式市場が底堅く推移したことでリスク資産が選好され、期末にかけて堅調に推移しました。資産別では資本性の高いC o C o債が堅調でした。

前期における「今後の運用方針」**当ファンド**

A Bグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）（以下「ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）」といいます。）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。通常の状態、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行いません。

ポートフォリオについて

(2017.2.21～2017.8.18)

■当ファンド

当ファンドは、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通じてハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）への投資割合を高位に維持しました。

■ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）

G-SIFIs（金融システム上、世界経済に与える影響が極めて大きい重要な金融機関）を中心に、利回り水準や流動性、発行体の信用力などを考慮して銘柄選定を行ないました。資産別では、C o C o債、米国優先証券、劣後債（バーゼルⅢ対応型）を中心に投資を行ないました。国・地域別では財務改善がより進んでいる米国の金融機関の比率を高めとしました。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は215円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2017年2月21日 ～2017年8月18日	
当期分配金（税込み）	（円）	215
対基準価額比率	（％）	2.03
当期の収益	（円）	215
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	384

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	217.85円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	370.36
(c) 収益調整金	5.69
(d) 分配準備積立金	5.45
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	599.37
(f) 分配金	215.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	384.37

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。通常の状態で、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないません。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2017.2.21~2017.8.18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	64円	0.622%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,251円です。
(投 信 会 社)	(22)	(0.212)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目 論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(41)	(0.397)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後 の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	64	0.626	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2017年2月21日から2017年8月18日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
国 内	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関 投資家専用)	-	-	1,620,160,241	1,660,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける
期中の利害関係人との取引状況

(2017年2月21日から2017年8月18日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
区 分						
公社債	百万円 68,591	百万円 11,700	% 17.1	百万円 -	百万円 -	% -
コール・ローン	3,587,208	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペビエ
ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への
支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への
支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される
利害関係人であり、当期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券で
す。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファン
ドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	千口 7,469,821.133	千円 7,807,457	% 99.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末
	口 数	口 数 評 価 額
	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0 1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年8月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 7,807,457	% 96.3
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	303,381	3.7
投資信託財産総額	8,110,839	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年8月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	8,110,839,696円
コール・ローン等	303,381,648
投資信託受益証券(評価額)	7,807,457,048
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	1,000
(B) 負債	234,728,863
未払収益分配金	163,206,953
未払解約金	18,055,179
未払信託報酬	53,127,708
その他未払費用	339,023
(C) 純資産総額(A - B)	7,876,110,833
元本	7,591,021,109
次期繰越損益金	285,089,724
(D) 受益権総口数	7,591,021,109口
1万口当り基準価額(C/D)	10,376円

*期首における元本額は9,249,881,181円、当期中における追加設定元本額は423,693,027円、同解約元本額は2,082,553,099円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,376円です。

■損益の状況

当期 自2017年2月21日 至2017年8月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	181,164,168円
受取配当金	181,203,921
受取利息	2,537
支払利息	△ 42,290
(B) 有価証券売買損益	432,386,340
売買益	503,899,311
売買損	△ 71,512,971
(C) 信託報酬等	△ 53,468,004
(D) 当期損益金(A + B + C)	560,082,504
(E) 前期繰越損益金	△109,416,196
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	△ 2,369,631 (4,322,800)
(売買損益相当額)	(△ 6,692,431)
(G) 合計(D + E + F)	448,296,677
(H) 収益分配金	△163,206,953
次期繰越損益金(G + H)	285,089,724
追加信託差損益金 (配当等相当額)	△ 2,369,631 (4,322,800)
(売買損益相当額)	(△ 6,692,431)
分配準備積立金	287,459,355

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	165,375,066円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	281,148,058
(c) 収益調整金	4,322,800
(d) 分配準備積立金	4,143,184
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	454,989,108
(f) 分配金	163,206,953
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	291,782,155
(h) 受益権総口数	7,591,021,109口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	215円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、8月18日現在の基準価額（1万口当り10,376円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

為替ヘッジなし

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			騰落率	公社債組入比率	投資資産信託証券比率	純資産額
	(分配落)	税金	入金				
	円	円	円	%	%	%	百万円
1期末（2016年2月18日）	8,895	125	△	9.8	0.0	99.2	2,930
2期末（2016年8月18日）	8,092	175	△	7.1	0.0	99.6	2,289
3期末（2017年2月20日）	9,071	220		14.8	0.0	99.0	1,820
4期末（2017年8月18日）	9,616	140		7.6	—	98.8	2,062

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。

（注2）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含まず。

（注3）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

（注4）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,071円

期末：9,616円 (分配金140円)

騰落率：7.6% (分配金込み)

■ 基準価額の主な変動要因

世界の金融機関（関連会社等を含みます。以下同じ。）が発行するハイブリッド証券に投資した結果、主にC o C o債（※）が堅調な推移となり基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※C o C o債とは、特定の条件下において強制的に投資家が損失を負担する条項（C o C o条項）が付帯されたハイブリッド証券（劣後債、優先証券）をいいます。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率	投 資 組 益 入	信 証 比	託 券 率
	騰 落 率	率				
(期首) 2017年2月20日	円 9,071	% -	% 0.0			% 99.0
2月末	9,139	0.7	0.0			99.1
3月末	9,195	1.4	-			98.5
4月末	9,317	2.7	0.0			99.0
5月末	9,504	4.8	0.0			99.7
6月末	9,772	7.7	0.0			98.7
7月末	9,829	8.4	0.0			97.9
(期末) 2017年8月18日	9,756	7.6	-			98.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017.2.21～2017.8.18)

■金融ハイブリッド証券市況

金融ハイブリッド証券市況は上昇しました。

金融ハイブリッド証券市況は、期の初めより、F R B（米国連邦準備制度理事会）高官から利上げを示唆する発言が相次いだことで、2017年3月中旬にかけて下落する場面がありました。しかし、F O M C（米国連邦公開市場委員会）では市場の予想通り利上げが実施されましたが、今後の利上げペースについては市場が警戒するほどの積極的な内容とはならなかったことから上昇しました。また、フランス大手銀行のクレディ・アグリコルの永久劣後債のコールスキップ（期限前償還の見送り）が発表されたものの、同時に市場価格に近い価格での買い戻しが発表されたことから、金融ハイブリッド証券市場への影響は限定的となりました。その後は、トランプ米国大統領のロシアとの不透明な関係をめぐる疑惑への懸念が高まったことで下落する場面があったものの、世界的に株式市場が底堅く推移したことでリスク資産が選好され、期末にかけて堅調に推移しました。資産別では資本性の高いC o C o債が堅調でした。

■為替相場

為替相場は円高米ドル安、円安ユーロ高となりました。

米ドル円相場は、トランプ政権の政策実行能力への期待感が後退し、円高米ドル安となりました。一方でユーロ円相場は、フランス大統領選挙で親E U（欧州連合）派のマクロン氏が勝利し欧州政治に対する警戒感が後退したことや、E C B（欧州中央銀行）のドラギ総裁が将来的に金融緩和策の縮小を示唆する発言をしたことから、円安ユーロ高となりました。

前期における「今後の運用方針」

■当ファンド

A Bグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）（以下「ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）」といいます。）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。通常の状態では、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

(2017.2.21~2017.8.18)

■当ファンド

当ファンドは、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通じてハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）への投資割合を高位に維持しました。

■ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）

G-SIFIs（金融システム上、世界経済に与える影響が極めて大きい重要な金融機関）を中心に、利回り水準や流動性、発行体の信用力などを考慮して銘柄選定を行ないました。資産別では、C o C o債、米国優先証券、劣後債（バーゼルⅢ対応型）を中心に投資を行ないました。国・地域別では財務改善がより進んでいる米国の金融機関の比率を高めとしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は140円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2017年2月21日 ~2017年8月18日	
当期分配金（税込み）	（円）	140
対基準価額比率	（%）	1.44
当期の収益	（円）	140
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	61

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	144.47円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	52.05
(d) 分配準備積立金	4.72
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	201.25
(f) 分配金	140.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	61.25

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。通常の状態、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2017.2.21~2017.8.18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	59円	0.622%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,479円です。
(投 信 会 社)	(20)	(0.212)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目 論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(38)	(0.397)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後 の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	59	0.626	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2017年2月21日から2017年8月18日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
国 内	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	551,656.126	540,000	414,979.864	393,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2017年2月21日から2017年8月18日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	68,591	11,700	17.1	—	—	—
コール・ローン	3,587,208	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペビエファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	千口 2,114,056.59	千円 2,038,373	% 98.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末
	口 数	口 数 評 価 額
	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0 1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年8月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	2,038,373	96.6
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	71,477	3.4
投資信託財産総額	2,109,851	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年8月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,109,851,848円
コール・ローン等	71,477,484
投資信託受益証券(評価額)	2,038,373,364
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	1,000
(B) 負債	46,923,328
未払収益分配金	30,035,245
未払解約金	6,285,388
未払信託報酬	10,535,535
その他未払費用	67,160
(C) 純資産総額(A - B)	2,062,928,520
元本	2,145,374,707
次期繰越損益金	△ 82,446,187
(D) 受益権総口数	2,145,374,707口
1万口当り基準価額(C/D)	9,616円

* 期首における元本額は2,007,119,203円、当期中における追加設定元本額は642,472,604円、同解約元本額は504,217,100円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,616円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は82,446,187円です。

■損益の状況

当期 自2017年2月21日 至2017年8月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	34,405,896円
受取配当金	34,417,223
受取利息	595
支払利息	△ 11,922
(B) 有価証券売買損益	72,548,900
売買益	89,317,592
売買損	△ 16,768,692
(C) 信託報酬等	△ 10,603,000
(D) 当期損益金(A + B + C)	96,351,796
(E) 前期繰越損益金	△ 133,646,818
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	△ 15,115,920 (11,167,923)
(売買損益相当額)	(△ 26,283,843)
(G) 合計(D + E + F)	△ 52,410,942
(H) 収益分配金	△ 30,035,245
次期繰越損益金(G + H)	△ 82,446,187
追加信託差損益金 (配当等相当額)	△ 15,115,920 (11,167,923)
(売買損益相当額)	(△ 26,283,843)
分配準備積立金	1,972,846
繰越損益金	△ 69,303,113

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	30,994,911円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	11,167,923
(d) 分配準備積立金	1,013,180
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	43,176,014
(f) 分配金	30,035,245
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	13,140,769
(h) 受益権総口数	2,145,374,707口

収益分配金のお知らせ	
1 万口当り分配金	140円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、8月18日現在の基準価額（1万口当り9,616円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

<補足情報>

当ファンド（ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし））が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2016年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2017年8月18日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を21ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2017年2月21日から2017年8月18日まで)

買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
657	国庫短期証券 2017/4/17	10,150,199			
652	国庫短期証券 2017/3/27	9,790,078			
659	国庫短期証券 2017/4/24	9,120,282			
651	国庫短期証券 2017/3/21	7,630,194			
669	国庫短期証券 2017/6/12	6,970,248			
644	国庫短期証券 2017/5/12	6,690,300			
660	国庫短期証券 2017/5/1	4,590,081			
649	国庫短期証券 2017/3/13	2,490,082			
650	国庫短期証券 2017/6/12	2,490,050			
665	国庫短期証券 2017/5/22	2,200,079			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2017年8月18日現在における該当事項はありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第7期 (決算日 2016年12月9日)

(計算期間 2015年12月10日～2016年12月9日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの第7期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

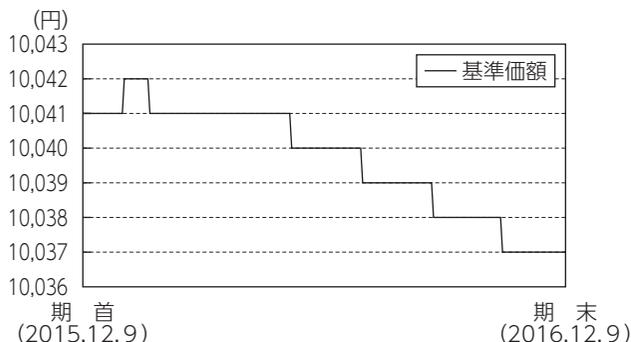
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	%	
(期首)2015年12月9日	10,041	—	51.6
12月末	10,041	0.0	51.7
2016年1月末	10,042	0.0	90.7
2月末	10,041	0.0	51.1
3月末	10,041	0.0	2.0
4月末	10,041	0.0	7.5
5月末	10,040	△0.0	0.1
6月末	10,040	△0.0	2.0
7月末	10,039	△0.0	19.3
8月末	10,038	△0.0	46.5
9月末	10,038	△0.0	26.0
10月末	10,037	△0.0	3.4
11月末	10,037	△0.0	26.6
(期末)2016年12月9日	10,037	△0.0	29.1

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,041円 期末：10,037円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期首より、日銀は量的・質的金融緩和を継続し、2016年1月にはマイナス金利付き量的・質的金融緩和の導入を、9月には長短金利操作付き量的・質的金融緩和の導入を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利は低下しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

国 内	買 付 額	売 付 額
国債証券	215,986,756	2,822,446 (233,210,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

買 付			売 付		
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
591	国庫短期証券 2016/5/30	18,690,605	575	国庫短期証券 2016/6/10	1,500,603
601	国庫短期証券 2016/7/19	18,510,383	342	2年国債 0.1% 2016/7/15	720,475
613	国庫短期証券 2016/9/12	18,220,258	100	5年国債 0.3% 2016/9/20	601,368
611	国庫短期証券 2016/9/5	15,210,394			
596	国庫短期証券 2016/6/20	11,560,241			
588	国庫短期証券 2016/5/16	9,500,428			
609	国庫短期証券 2016/8/22	8,580,187			
629	国庫短期証券 2016/11/28	8,570,294			
610	国庫短期証券 2016/8/29	7,920,152			
619	国庫短期証券 2016/10/11	7,720,160			

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	当 期		末		
	額面金額	評 価 額	組入比率	うち8B格以下 組入比率	残存期間別組入比率
	千円	千円	%	%	%
国債証券	12,370,000	12,370,239	29.1	-	29.1

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
 (注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
 (注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入力しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	当 期		末	
		年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
国債証券	632 国庫短期証券	-	7,380,000	7,380,059	2016/12/12
	634 国庫短期証券	-	2,070,000	2,070,043	2016/12/19
	635 国庫短期証券	-	2,920,000	2,920,135	2016/12/26
合計	銘柄数 金額	3銘柄	12,370,000	12,370,239	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年12月9日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	千円	%
公社債	12,370,239	27.2		
コール・ローン等、その他	33,049,576	72.8		
投資信託財産総額	45,419,816	100.0		

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年12月9日現在

項 目	当 期	末
(A) 資産	45,419,816,005円	
コール・ローン等	33,049,294,532	
公社債(評価額)	12,370,239,552	
その他未収収益	281,921	
(B) 負債	2,970,027,930	
未払金	1,470,027,930	
未払解約金	1,500,000,000	
(C) 純資産総額(A-B)	42,449,788,075	
元本	42,294,564,193	
次期繰越損益金	155,223,882	
(D) 受益権総口数	42,294,564,193口	
1万口当り基準価額(C/D)	10,037円	

* 期首における元本額は62,535,131,959円、当期中における追加設定元本額は110,785,944,225円、同解約元本額は131,026,511,991円です。
 * 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド(為替ヘッジあり) 3,021,993円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド(為替ヘッジなし) 1,018,149円、ダイワ米国バンクロー

ン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-07 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-09 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-11 9,962円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック-49,795,838円、新興国ソブリン・豪ドルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルのリアルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、アジア高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、U S短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 3,988,832円、U S短期高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 4,984円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) - ロボテック(年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、ダイワ上場投信 - 日経平均レバレッジ・インデックス13,026,074,887円、ダイワ上場投信 - 日経平均ダブルインバース・インデックス7,057,921,466円、ダイワ上場投信 - T O P I Xレバレッジ(2倍) 指数1,434,536,786円、ダイワ上場投信 - T O P I Xダブルインバース(-2倍) 指数757,087,194円、ダイワ上場投信 - 日経平均インバース・インデックス11,055,796,865円、ダイワ上場投信 - T O P I Xインバース(-1倍) 指数2,230,635,146円、ダイワ上場投信 - J P X日経400レバレッジ・インデックス901,494,652円、ダイワ上場投信 - J P X日経400インバース・インデックス4,402,808,262円、ダイワ上場投信 - J P X日経400ダブルインバース・インデックス31,802,045円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ・ブルベア・セレクト・マネー・ポートフォリオ185,052,355円、ダイワ・ブルベア・セレクト・ドル高円安ポートフォリオ160,376,323円、ダイワ・ブルベア・セレクト 円高ドル安ポートフォリオ76,963,963円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S L Tレード-48,811,188円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の権音(つちおと) - 11,000,000円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド、マネー・ポートフォリオ395,846,364円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド、マネー・ポートフォリオ91,481,943円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 豪ドル・コース(毎月分配型) 4,184,518円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ ブラジルのリアル・コース(毎月分配型) 12,952,078円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 4,981,569円、ダイワU S短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 199,295円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレアセット亜細亜株ファンド9,958,176円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 米ドル・コース4,980,080円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) ブラジルのリアル・コース12,948,208円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 通貨セレクト・コース3,685,259円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) - ロボテック(年1回) -100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり(毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし(毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース(毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース(毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジあり) 2,088,438円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジなし) 1,012,911円、ダイワ/ミレアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース(毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジルのリアル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - ユーグルアイⅡ - 予想分配金提示型 日本円・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - ユーグルアイⅡ - 予想分配金提示型 豪ドル・コース499,994円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - ユーグルアイⅡ - 予想分配金提示型 ブラジルのリアル・コース1,496,804円、

ダイワ・マネーストック・マザーファンド

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型
米ドル・コース9,976,045円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグ
ルアイII- 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース2,001,563円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,037円です。

■損益の状況

当期 自2015年12月10日 至2016年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 16,210,382円
受取利息	△ 3,627,074
その他収益金	281,921
支払利息	△ 12,865,229
(B) 有価証券売買損益	△ 1,217,528
売買益	236,035
売買損	△ 1,453,563
(C) その他費用	△ 176,405
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 17,604,315
(E) 前期繰越損益金	256,659,974
(F) 解約差損益金	△525,706,324
(G) 追加信託差損益金	441,874,547
(H) 合計(D + E + F + G)	155,223,882
次期繰越損益金(H)	155,223,882

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。



ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用) ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

追加型投信／内外／その他資産 (ハイブリッド証券) 第4期 (決算日2017年7月18日)

●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

	為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
商品分類	追加型投信／内外／その他資産 (ハイブリッド証券)	
信託期間	無期限	
運用方針	<p>① ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンドの受益証券への投資を通じて、世界の金融機関 (関連会社等を含みます。) が発行するハイブリッド証券 (劣後債、優先証券) * に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を旨として運用を行います。 * C o C o 条項が付帯されているものを含みます。</p> <p>② マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高度に維持します。</p> <p>③ マザーファンドにおけるハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIsに指定された金融機関 (関連会社等を含みます。) が発行する銘柄を中心に投資を行います。</p> <p>④ ポートフォリオの構築にあたっては、原則として、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定します。</p>	
	実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をめざします。	実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主運用対象	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (適格機関投資家専用)	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	世界の金融機関 (関連会社等を含みます。) が発行するハイブリッド証券 (劣後債、優先証券) * を主要投資対象とします。 * C o C o 条項が付帯されているものを含みます。
組入制限	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (適格機関投資家専用)	① 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ② 株式への実質投資割合には、制限を設けません。
	ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	① 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ② 株式への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>① 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。</p> <p>② 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。</p> <p>③ 留保益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「投資態度」に基づいて運用を行います。</p>	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)」 「ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)」は、このたび第4期の決算を行いました。

ここに、当期の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0005

東京都千代田区丸の内一丁目8番3号 丸の内トラストタワー本館
お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-3240-8608

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 込 分 配 金			ハイブリッド証券			債 先 物 比 率	純 資 産 額
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	優 先 株 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率		
(設定日) 2015年8月20日	円 10,000	円 -	% -	% -	% -	% -	% -	百万円 8,000	
1期(2016年1月18日)	9,843	193	0.4	-	89.3	-	-	11,224	
2期(2016年7月19日)	9,748	261	1.7	-	95.2	-	-	11,259	
3期(2017年1月18日)	9,741	277	2.8	-	95.4	-	-	9,189	
4期(2017年7月18日)	10,325	244	8.5	1.3	94.2	-	-	7,891	

(注) 設定日の基準価額は、当初設定時の価額です。また設定日の純資産総額は、当初設定元本総額を表示しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「優先株組入比率」「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	ハイブリッド証券			債 先 物 比 率
		騰 落 率	優 先 株 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率	
(期 首) 2017年1月18日	円 9,741	% -	% -	% 95.4	% -
1月末	9,796	0.6	1.0	95.1	-
2月末	9,970	2.4	1.1	92.3	-
3月末	10,038	3.0	1.8	92.4	-
4月末	10,218	4.9	2.9	95.9	-
5月末	10,397	6.7	2.9	91.2	-
6月末	10,539	8.2	3.1	97.2	-
(期 末) 2017年7月18日	10,569	8.5	1.3	94.2	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、各騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「優先株組入比率」「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) 月末は、各月の最終営業日です。

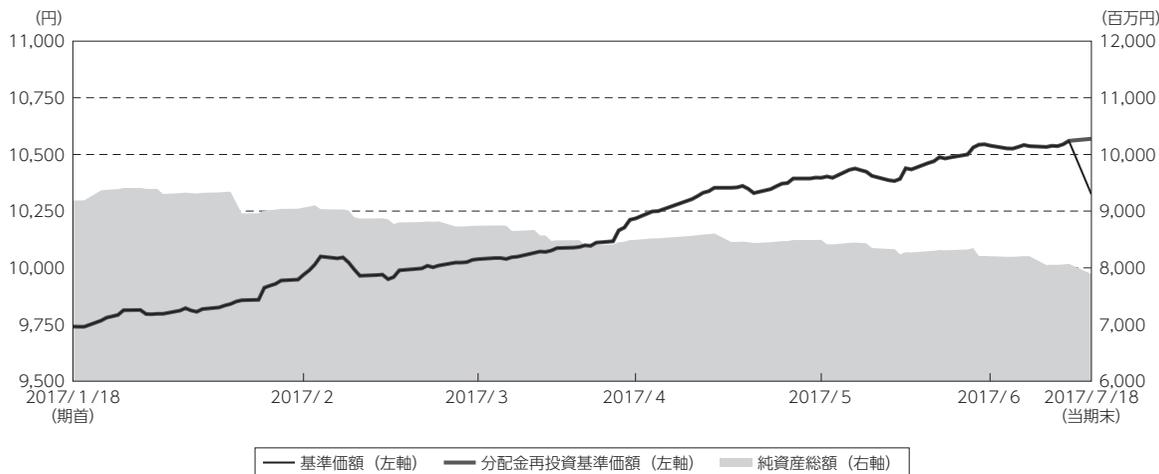
※ベンチマークについて
当ファンドの運用方針と類似した適切な指標が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

運用経過

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）（以下「当ファンド」といいます。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

（2017年1月19日～2017年7月18日）



期首：9,741円
 期末：10,325円（既払分配金（税込み）：244円）
 騰落率：8.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2017年1月18日）の値が基準価額と同一になるよう指数化しております。

（注）上記期末基準価額は、分配落ち後の価額を表示いたします。

○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は、前期末比8.5%の上昇*となりました。

*基準価額の騰落率は、税込み分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮していませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

<値上がり要因>

- ・保有するハイブリッド証券のクーポン収入
- ・保有するハイブリッド証券の価格上昇

<値下がり要因>

- ・為替のヘッジ・コスト

投資環境

（2017年1月19日～2017年7月18日）

当期のハイブリッド証券市場は、上昇しました。

期初は、米国のトランプ政権に対する不安が和らぎ世界的な株高が続く中でリスク資産が買われたことなどから堅調に推移しました。その後2017年3月に入ると米国の早期利上げ観測などを受け一時的に下落したものの、利上げ後の年内利上げペースが緩やかになるとの見通しから再び上昇しました。クレディ・アグリコルのコールスキップが発表されたものの、同時にテnderオファーも発表されたことからハイブリッド証券市場への影響は軽微なものにとどまりました。その後も、米国のトランプ政権によるロシア疑惑やブラジルのテメル大統領の汚職疑惑などが浮上したものの、世界的に株式市場が底堅く推移したことで引き続きリスク資産が選好され、期末にかけて堅調に推移しました。

証券種別では資本性の高いCoCo債が堅調でした。

当ファンドのポートフォリオ

（2017年1月19日～2017年7月18日）

当ファンドはA Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド（以下、「マザーファンド」ということがあります）受益証券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ります。

マザーファンドは世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

当ファンドは期を通してほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。なお、当ファンドの外貨建資産については、高い為替ヘッジ比率を維持しました。

<マザーファンド>

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。

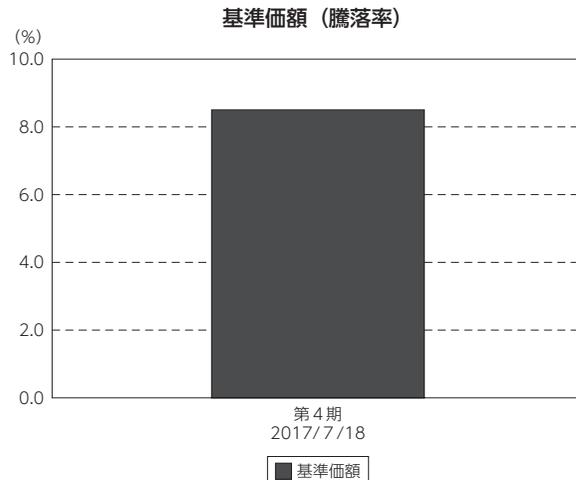
ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIs（Global Systemically Important Financial Institutions）に指定された金融機関が発行する銘柄を中心に投資を行い、ポートフォリオの構築にあたっては、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定しました。

その結果、資本性の高いCoCo債や魅力的なバリュエーションを有する米国優先証券の組入比率を引き上げました。一方で、従来型の優先証券については、保有証券の償還等もあり組入比率は大きく下がりました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2017年1月19日～2017年7月18日）

当ファンドは、特定の指数を上回ることを目指す運用を行っていないため、ベンチマークを設けておりません。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

（2017年1月19日～2017年7月18日）

当期の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、244円（1万口当たり、税込み）といたしました。なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第4期
	2017年1月19日～ 2017年7月18日
当期分配金	244
（対基準価額比率）	2.309%
当期の収益	244
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	359

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注）上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

今後の運用方針

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

<マザーファンド>

世界経済は、原油安に伴う製造業の調整も一巡し、米国を中心に緊縮財政緩和の追い風により先進国の成長率が高まることで一部を除く新興国経済が持ち直し、成長率は高まるとみています。米国は、トランプ政権の政策実現度合に依存する部分大きい中、労働市場の回復やインフレ率の動向を踏まえリスクを慎重に判断しながら更なる利上げを継続すると予想しています。ユーロ圏は、E C B内で追加金融緩和が不要との意見が増えてきており、2018年からは国債購入金額を減らすなど慎重に出口戦略の模索に向かうとみています。

ハイブリッド証券市場については、当局による金融機関への資本規制の具体的な内容が次第に明らかになりつつある中で、各金融機関には資本水準の引上げやリスク削減の取組が引き続き求められ、さらなる信用力向上が期待できることから、引き続き魅力的な市場であると考えています。特にバーゼルⅢ対応型ハイブリッド証券は、市場参加者の拡大が見込まれる上、割安度の観点でも投資妙味が大きいとみています。銘柄選定にあたっては、ファンダメンタル対比で割安感の高まったとみられる銘柄を慎重に選択していく方針です。また、引き続き個別証券の仕組みや価格動向、発行体の分析を行うことでコール見通しの評価を行っていく方針です。

※将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

（2017年1月19日～2017年7月18日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 29 (27) (0) (1)	% 0.284 (0.268) (0.003) (0.013)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用、基準価額の算出、法定書類作成等の対価 購入後の情報提供、各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (優 先 株)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (0) (0) (0)	0.008 (0.003) (0.004) (0.000)	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	30	0.292	
期中の平均基準価額は、10,159円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2017年1月19日～2017年7月18日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千口 885,509	千円 887,273	千口 2,863,281	千円 2,966,380

（注）単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2017年1月19日～2017年7月18日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2017年7月18日現在）

親投資信託残高

銘 柄	期 首（前期末）	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千口 9,147,968	千口 7,170,196	千円 7,762,455

（注）単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

（2017年7月18日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千円 7,762,455	% 95.7
コール・ローン等、その他	349,386	4.3
投資信託財産総額	8,111,841	100.0

（注）評価額の単位未満は切り捨て。

（注）ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（9,177,303千円）の投資信託財産総額（9,676,637千円）に対する比率は94.8%です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レート（各1通貨単位当たり）は、1米ドル=112.43円、1ユーロ=129.09円、1英ポンド=146.75円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2017年7月18日現在）

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	17,228,245,337	
コール・ローン等	93,642,194	
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド(評価額)	7,762,455,037	
未収入金	9,372,148,106	
(B) 負債	9,337,072,970	
未払金	9,125,579,997	
未払収益分配金	186,478,202	
未払信託報酬	24,636,528	
未払利息	243	
その他未払費用	378,000	
(C) 純資産総額(A - B)	7,891,172,367	
元本	7,642,549,278	
次期繰越損益金	248,623,089	
(D) 受益権総口数	7,642,549,278	口
1万口当たり基準価額(C / D)	10,325	円

(注) 期首元本額9,434,119,231円、期中追加設定元本額154,004,107円、期中一部解約元本額1,945,574,060円。当期末現在における1口当たり純資産額1.0325円。

○損益の状況（2017年1月19日～2017年7月18日）

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	△ 18,994	
支払利息	△ 18,994	
(B) 有価証券売買損益	657,979,218	
売買益	1,713,798,496	
売買損	△1,055,819,278	
(C) 信託報酬等	△ 25,015,023	
(D) 当期損益金(A + B + C)	632,945,201	
(E) 前期繰越損益金	△ 183,430,606	
(F) 追加信託差損益金	△ 14,413,304	
(配当等相当額)	(11,123,840)	
(売買損益相当額)	(△ 25,537,144)	
(G) 計(D + E + F)	435,101,291	
(H) 収益分配金	△ 186,478,202	
次期繰越損益金(G + H)	248,623,089	
追加信託差損益金	△ 14,413,304	
(配当等相当額)	(11,415,082)	
(売買損益相当額)	(△ 25,828,386)	
分配準備積立金	263,036,393	
繰越損益金	-	

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬、監査報酬などの諸費用とそれらに対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) 第4期計算期間末における費用控除後の配当等収益額(205,436,847円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(238,252,474円)、収益調整金額(11,415,082円)および分配準備積立金額(5,825,274円)より分配対象収益額は460,929,677円(10,000口当たり603円)であり、うち186,478,202円(10,000口当たり244円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	244円
----------------	------

○お知らせ

該当事項はありません。

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 込 配 分			ハ イ ブ リ ッ ド 証 券			債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	分	騰 落 率	優 先 株 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率		
(設定日) 2015年8月20日	円 10,000	円 -	円 -	% -	% -	% -	% -	百万円 2,580	
1期 (2016年1月18日)	9,397	188	△	4.2	-	90.3	-	3,086	
2期 (2016年7月19日)	8,415	234	△	8.0	-	94.8	-	2,384	
3期 (2017年1月18日)	9,010	238	-	9.9	-	97.9	-	1,839	
4期 (2017年7月18日)	9,728	226	10.5	1.3	95.8	-	-	1,519	

(注) 設定日の基準価額は、当初設定時の価額です。また設定日の純資産総額は、当初設定元本総額を表示しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「優先株組入比率」「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	ハ イ ブ リ ッ ド 証 券			債 先 物 比 率
		騰 落 率	優 先 株 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率	
(期 首) 2017年1月18日	円 9,010	% -	% -	% 97.9	% -
1月末	9,144	1.5	1.0	96.5	-
2月末	9,184	1.9	1.1	93.7	-
3月末	9,250	2.7	1.9	94.5	-
4月末	9,383	4.1	2.9	94.8	-
5月末	9,583	6.4	3.0	93.5	-
6月末	9,868	9.5	3.1	95.1	-
(期 末) 2017年7月18日	9,954	10.5	1.3	95.8	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、各騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「優先株組入比率」「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) 月末は、各月の最終営業日です。

※ベンチマークについて
当ファンドの運用方針と類似した適切な指標が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

運用経過

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）（以下「当ファンド」といいます。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

（2017年1月19日～2017年7月18日）



期首：9,010円
 期末：9,728円（既払分配金（税込み）：226円）
 騰落率：10.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2017年1月18日）の値が基準価額と同一になるよう指数化しております。

（注）上記期末基準価額は、分配落ち後の価額を表示いたします。

○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は、前期末比10.5%の上昇*となりました。

*基準価額の騰落率は、税込み分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮していませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

<値上がり要因>

- ・円安／ユーロ高が進行したこと。
- ・保有するハイブリッド証券のクーポン収入
- ・保有するハイブリッド証券の価格上昇

<値下がり要因>

- ・円高／ドル安となったこと。

投資環境

（2017年1月19日～2017年7月18日）

当期のハイブリッド証券市場は、上昇しました。

期初は、米国のトランプ政権に対する不安が和らぎ世界的な株高が続く中でリスク資産が買われたことなどから堅調に推移しました。その後2017年3月に入ると米国の早期利上げ観測などを受け一時的に下落したものの、利上げ後の年内利上げペースが緩やかになるとの見通しから再び上昇しました。クレディ・アグリコルのコールスキップが発表されたものの、同時にテnder オファーも発表されたことからハイブリッド証券市場への影響は軽微なものにとどまりました。その後も、米国のトランプ政権によるロシア疑惑やブラジルのテメル大統領の汚職疑惑などが浮上したものの、世界的に株式市場が底堅く推移したことで引き続きリスク資産が選好され、期末にかけて堅調に推移しました。

証券種別では資本性の高いCoCo債が堅調でした。

為替市場において、円ドル・レートは、地政学リスクの高まりや米国のトランプ政権に対する疑惑などを受け円高ドル安となりました。円ユーロ・レートおよび円ポンド・レートはいずれも円安ユーロ高、円安ポンド高となりました。2017年4月半ばまではフランス大統領選挙に伴う政治リスクの高まりを受け円高ユーロ安、円高ポンド安となったものの、同大統領選挙が想定内の結果となると反転しました。6月半ば以降は、欧州中央銀行（ECB）や英中央銀行（BOE）などの金融当局者による金融引締めを示唆する発言からさらに円安ユーロ高、円安ポンド高が進行しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2017年1月19日～2017年7月18日）

当ファンドはA Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド（以下、「マザーファンド」ということがあります）受益証券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ります。

マザーファンドは世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

当ファンドは期を通してほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。当ファンドの実質外貨建資産については為替ヘッジを行いませんでした。

<マザーファンド>

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。

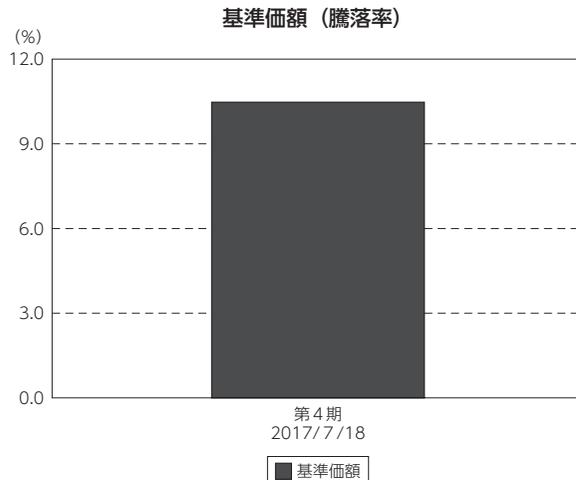
ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIs（Global Systemically Important Financial Institutions）に指定された金融機関が発行する銘柄を中心に投資を行い、ポートフォリオの構築にあたっては、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定しました。

その結果、資本性の高いCoCo債や魅力的なバリュエーションを有する米国優先証券の組入比率を引き上げました。一方で、従来型の優先証券については、保有証券の償還等もあり組入比率は大きく下がりました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2017年1月19日～2017年7月18日）

当ファンドは、特定の指数を上回ることを目指す運用を行っていないため、ベンチマークを設けておりません。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

（2017年1月19日～2017年7月18日）

当期の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、226円（1万口あたり、税込み）といたしました。なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第4期
	2017年1月19日～ 2017年7月18日
当期分配金	226
（対基準価額比率）	2.270%
当期の収益	226
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	60

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注）上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

今後の運用方針

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

<マザーファンド>

世界経済は、原油安に伴う製造業の調整も一巡し、米国を中心に緊縮財政緩和の追い風により先進国の成長率が高まることで一部を除く新興国経済が持ち直し、成長率は高まるとみています。米国は、トランプ政権の政策実現度合に依存する部分大きい中、労働市場の回復やインフレ率の動向を踏まえリスクを慎重に判断しながら更なる利上げを継続すると予想しています。ユーロ圏は、E C B 内で追加金融緩和が不要との意見が増えてきており、2018年からは国債購入金額を減らすなど慎重に出口戦略の模索に向かうとみています。

ハイブリッド証券市場については、当局による金融機関への資本規制の具体的な内容が次第に明らかになりつつある中で、各金融機関には資本水準の引上げやリスク削減の取組が引き続き求められ、さらなる信用力向上が期待できることから、引き続き魅力的な市場であると考えています。特にバーゼルⅢ対応型ハイブリッド証券は、市場参加者の拡大が見込まれる上、割安度の観点でも投資妙味が大きいとみています。銘柄選定にあたっては、ファンダメンタル対比で割安感の高まったとみられる銘柄を慎重に選択していく方針です。また、引き続き個別証券の仕組みや価格動向、発行体の分析を行うことでコール見通しの評価を行っていく方針です。

※将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1万口当たりの費用明細

（2017年1月19日～2017年7月18日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 27 (25) (0) (1)	% 0.284 (0.268) (0.003) (0.013)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用、基準価額の算出、法定書類作成等の対価 購入後の情報提供、各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (優 先 株)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (0) (1) (0)	0.010 (0.003) (0.006) (0.000)	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	28	0.294	
期中の平均基準価額は、9,402円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2017年1月19日～2017年7月18日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千口 17,284	千円 17,122	千口 493,964	千円 508,000

（注）単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2017年1月19日～2017年7月18日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2017年7月18日現在）

親投資信託残高

銘 柄	期 首（前期末）	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千口 1,879,951	千口 1,403,271	千円 1,519,181

（注）単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

（2017年7月18日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千円 1,519,181	% 96.1
コール・ローン等、その他	61,010	3.9
投資信託財産総額	1,580,191	100.0

（注）評価額の単位未満は切り捨て。

（注）ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（9,177,303千円）の投資信託財産総額（9,676,637千円）に対する比率は94.8%です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レート（各1通貨単位当たり）は、1米ドル=112.43円、1ユーロ=129.09円、1英ポンド=146.75円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2017年7月18日現在）

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	1,580,191,896	
コール・ローン等	10,011	
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド（評価額）	1,519,181,885	
未収入金	61,000,000	
(B) 負債	60,221,143	
未払収益分配金	35,310,250	
未払解約金	19,999,999	
未払信託報酬	4,802,894	
その他未払費用	108,000	
(C) 純資産総額(A - B)	1,519,970,753	
元本	1,562,400,464	
次期繰越損益金	△ 42,429,711	
(D) 受益権総口数	1,562,400,464	口
1万口当たり基準価額(C / D)	9,728	円

(注) 期首元本額 2,041,573,835 円、期中追加設定元本額 16,334,532 円、期中一部解約元本額 495,507,903 円。当期末現在における 1 口当たり純資産額 0.9728 円。

(注) 第 4 期末現在において総資産総額が元本を下回っており、その差額は △42,429,711 円です。

○損益の状況（2017年1月19日～2017年7月18日）

項 目	当 期	円
(A) 有価証券売買損益	152,291,713	
売買益	171,542,421	
売買損	△ 19,250,708	
(B) 信託報酬等	△ 4,910,894	
(C) 当期損益金(A + B)	147,380,819	
(D) 前期繰越損益金	△ 138,837,573	
(E) 追加信託差損益金	△ 15,662,707	
(配当等相当額)	(1,474,277)	
(売買損益相当額)	(△ 17,136,984)	
(F) 計(C + D + E)	△ 7,119,461	
(G) 収益分配金	△ 35,310,250	
次期繰越損益金(F + G)	△ 42,429,711	
追加信託差損益金	△ 15,662,707	
(配当等相当額)	(1,503,538)	
(売買損益相当額)	(△ 17,166,245)	
分配準備積立金	7,960,684	
繰越損益金	△ 34,727,688	

(注) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B)信託報酬等には信託報酬、監査報酬などの諸費用とそれらに対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第 4 期計算期間末における費用控除後の配当等収益額 (39,368,088 円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (0 円)、収益調整金額 (1,503,538 円) および分配準備積立金額 (3,902,846 円) より分配対象収益額は 44,774,472 円 (10,000 口当たり 286 円) であり、うち 35,310,250 円 (10,000 口当たり 226 円) を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金 (税込み)	226円
-----------------	------

○お知らせ

該当事項はありません。



ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド

第2期（決算日2017年7月18日）

（計算期間：2016年7月20日～2017年7月18日）

●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

運用方針	①世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債、優先証券） [*] に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目差して運用を行います。 [*] C o C o条項が付帯されているものを含みます。 ②ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIsに指定された金融機関（関連会社等を含みます。）が発行する銘柄を中心に投資を行います。 ③ポートフォリオの構築にあたっては、原則として、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定します。
主要運用対象	世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債、優先証券） [*] を主要投資対象とします。 [*] C o C o条項が付帯されているものを含みます。
組入制限	①外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ②株式への投資割合には、制限を設けません。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0005

東京都千代田区丸の内一丁目8番3号 丸の内トラストタワー本館

お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-3240-8608

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		ハイブリッド証券			債 先 物 比 率	純 資 産 額
	騰 落	中 率	優 先 組 入 比 率	株 率	債 組 入 比 率		
(設定日) 2015年8月20日	円 10,000	% -	% -	% -	% -	% -	百万円 10,580
1期 (2016年7月19日)	8,874	△11.3	-	-	94.8	-	13,691
2期 (2017年7月18日)	10,826	22.0	1.3	1.3	95.8	-	9,281

(注) 設定日の基準価額は、当初設定時の価額です。また設定日の純資産総額は、当初設定元本総額を表示しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ハイブリッド証券			債 先 物 比 率
	騰 落	率	優 先 組 入 比 率	株 率	債 組 入 比 率	
(期 首) 2016年7月19日	円 8,874	% -	% -	% -	% 94.8	% -
7月末	8,827	△ 0.5	-	-	96.8	-
8月末	8,877	0.0	-	-	97.9	-
9月末	8,689	△ 2.1	-	-	96.9	-
10月末	9,039	1.9	-	-	99.9	-
11月末	9,399	5.9	-	-	97.7	-
12月末	9,919	11.8	-	-	97.0	-
2017年1月末	9,920	11.8	1.0	1.0	96.5	-
2月末	9,968	12.3	1.1	1.1	93.6	-
3月末	10,045	13.2	1.9	1.9	94.4	-
4月末	10,193	14.9	2.9	2.9	94.6	-
5月末	10,416	17.4	3.0	3.0	93.3	-
6月末	10,730	20.9	3.0	3.0	94.8	-
(期 末) 2017年7月18日	10,826	22.0	1.3	1.3	95.8	-

(注) 各騰落率は期首比です。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

※参考指数について
当ファンドの運用方針と類似した適切な指標が存在しないため、参考指数を設けておりません。

運用経過

A B グローバル・ハイブリッド証券マザーファンド（以下「当マザーファンド」ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

(2016年7月20日～2017年7月18日)

○期中の基準価額の推移



○基準価額等の推移

基準価額は、前期末比22.0%の上昇となりました。

○基準価額の主な変動要因

<値上がり要因>

- ・ 円安／ドル高が進行したこと。
- ・ 円安／ユーロ高が進行したこと。
- ・ 保有するハイブリッド証券のクーポン収入
- ・ 保有するハイブリッド証券の価格上昇

(2016年7月20日～2017年7月18日)

投資環境

当期のハイブリッド証券市場は、上昇しました。

期初は、英中央銀行（BOE）による社債購入プログラムの発表などを受けて堅調に推移しました。2016年11月に入ると、米国大統領選挙におけるトランプ氏の勝利を受け、米国金利が急騰したことや、イギリスおよび欧州の金融機関が相次いで、足元の低金利環境を考慮し発行する永久劣後債の初回コールを行わない方針を示したことから下落しました。しかしその後は米国のトランプ政権が掲げる政策への期待から世界的に投資家のリスク選好の動きが持続し、堅調に推移しました。2017年3月にクレディ・アグリコルのコールスキップが発表されたものの、同時にテングダーオファーも発表されたことからハイブリッド証券市場への影響は軽微なものにとどまりました。その後も、トランプ政権によるロシア疑惑やブラジルのテメル大統領の汚職疑惑などが浮上したものの、世界的に株式市場が底堅く推移したことで引き続きリスク資産が選好され、期末にかけて堅調に推移しました。

証券種別では資本性の高いCoCo債が堅調でした。

為替市場においては、円安ドル高、円安ユーロ高、円安ポンド高となりました。

円ドル・レートは、2016年11月の米国大統領選挙の結果を受けた米国金利の上昇を背景に急激に円安ドル高が進行しましたが、その後は地政学リスクの高まりなどを受けおおむね円高ドル安基調で推移しました。円ユーロ・レートおよび円ポンド・レートも米国大統領選挙後に投資家のリスク選好による円売りの動きが加速し、その後欧州中央銀行（ECB）およびBOEなどの金融当局者による金融引き締めを示唆する発言などからさらに円安ユーロ高、円安ポンド高が進行しました。

運用概況

(2016年7月20日～2017年7月18日)

当マザーファンドは世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIs (Global Systemically Important Financial Institutions) に指定された金融機関が発行する銘柄を中心に投資を行い、ポートフォリオの構築にあたっては、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定しました。なお、当マザーファンドの実質外貨建資産については為替ヘッジを行いませんでした。

その結果、資本性の高いCoCo債や魅力的なバリュエーションを有する米国優先証券の組入比率を引き上げました。一方で、従来型の優先証券については、保有証券の償還等もあり組入比率は大きく下がりました。

今後の運用方針

世界経済は、原油安に伴う製造業の調整も一巡し、米国を中心に緊縮財政緩和の追い風により先進国の成長率が高まることで一部を除く新興国経済が持ち直し、成長率は高まるとみています。米国は、トランプ政権の政策実現度合に依存する部分が大い中、労働市場の回復やインフレ率の動向を踏まえリスクを慎重に判断しながら更なる利上げを継続すると予想しています。ユーロ圏は、ECB内で追加金融緩和が不要との意見が増えてきており、2018年からは国債購入金額を減らすなど慎重に出口戦略の模索に向かうとみています。

ハイブリッド証券市場については、当局による金融機関への資本規制の具体的な内容が次第に明らかになりつつある中で、各金融機関には資本水準の引上げやリスク削減の取組が引き続き求められ、さらなる信用力向上が期待できることから、引き続き魅力的な市場であると考えています。特にパーゼルⅢ対応型ハイブリッド証券は、市場参加者の拡大が見込まれる上、割安度の観点でも投資妙味が大きいとみています。銘柄選定にあたっては、ファンダメンタル対比で割安感の高まったとみられる銘柄を慎重に選択していく方針です。また、引き続き個別証券の仕組みや価格動向、発行体の分析を行うことでコール見通しの評価を行っていく方針です。

※将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2016年7月20日～2017年7月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 有 価 証 券 取 引 税 (優 先 株)	0 (0)	0.000 (0.000)	(a)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	1 (1)	0.012 (0.006)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(1)	(0.006)	その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	1	0.012	
期中の平均基準価額は、9,668円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年7月20日～2017年7月18日)

ハイブリッド証券

優先株

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	アメリカ	百株 1,016	千米ドル 2,567	百株 623	千米ドル 1,641

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) 単位未満は切り捨て。

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券	千米ドル 85,070	千米ドル 134,359
	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	社債券	1,857	1,937
	イタリア	社債券	5,474	2,932
	フランス	社債券	373	367
	オランダ	社債券	1,449	4,303
	スペイン	社債券	11,859	9,170
	オーストリア	社債券	1,000	1,001
	アイルランド	社債券	1,856	1,580
	その他	社債券	7,336	4,166
イギリス	社債券	千英ポンド 6,430	千英ポンド 12,064	

(注) 金額は受け渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) 社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) -印は該当なし。

○利害関係人との取引状況等

(2016年7月20日～2017年7月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年7月18日現在)

ハイブリッド証券

優先株

銘柄	株数	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等
			株 数	評 価 額	
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ) MORGAN STANLEY Pfd	百株 -	百株 393	千米ドル 1,068	千円 120,183	各種金融
合 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	- -	393 1	1,068 -	120,183 <1.3%>

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) -印は該当なし。

外国公社債

(A) 外国(外貨建) 公社債 債券種類別開示

区 分	当 期 初	当 期 末		組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		額 面 金 額	評 価 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額					
アメリカ	千米ドル 51,063	千米ドル 54,831	千円 6,164,752	% 66.4	% 32.6	% 66.4	% -	% -
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	1,800	1,917	247,522	2.7	-	2.7	-	-
イタリア	4,813	5,807	749,642	8.1	-	8.1	-	-
オランダ	200	213	27,549	0.3	0.3	0.3	-	-
スペイン	4,400	4,864	627,952	6.8	6.8	6.8	-	-
アイルランド	300	322	41,631	0.4	-	0.4	-	-
その他	4,091	4,568	589,812	6.4	1.9	6.4	-	-
イギリス	千英ポンド 3,064	千英ポンド 3,023	443,760	4.8	2.9	4.8	-	-
合 計	-	-	8,892,623	95.8	44.4	95.8	-	-

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) -印は該当なし。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド

(B) 外国 (外貨建) 公社債 個別銘柄開示

銘柄			当期				償還年月日
			利率	額面金額	評価額		
		外貨建金額			邦貨換算金額		
アメリカ			%	千米ドル	千米ドル	千円	
	ハイブリッド証券等	BANK OF AMERICA CORP	6.3	2,700	3,013	338,774	2099/9/10
		BARCLAYS BANK PLC	7.7	1,000	1,029	115,718	2099/10/25
		BARCLAYS PLC	5.2	1,125	1,189	133,745	2026/5/12
		BNP PARIBAS	7.625	1,155	1,266	142,355	2099/9/30
		BPCE SA	5.7	2,223	2,473	278,146	2023/10/22
		CIT GROUP INC	5.8	896	932	104,892	2099/12/15
		CITIGROUP INC	6.25	2,275	2,519	283,274	2099/8/15
		CITIGROUP INC	6.125	1,900	2,028	228,036	2099/11/15
		COUNTRYWIDE CAPITAL III	8.05	2,775	3,581	402,724	2027/6/15
		CREDIT AGRICOLE SA	8.375	1,650	1,841	207,074	2099/10/13
		CREDIT AGRICOLE SA	8.125	1,600	1,880	211,368	2099/12/23
		CREDIT SUISSE GROUP	7.5	2,373	2,666	299,812	2099/12/11
		CREDIT SUISSE GROUP	6.25	2,500	2,664	299,598	2099/12/18
		DANSKE BANK AS	6.125	1,225	1,295	145,673	2099/9/28
		DNB BANK ASA	6.5	700	751	84,534	2099/3/26
		GOLDMAN SACHS GROUP INC	5.375	1,000	1,038	116,786	2099/11/10
		INTESA SANPAOLO SPA	5.017	2,400	2,435	273,814	2024/6/26
		INTESA SANPAOLO SPA	5.71	1,513	1,598	179,676	2026/1/15
		JPMORGAN CHASE & CO	6.75	1,000	1,137	127,889	2099/8/1
		LIBERTY MUTUAL GROUP	7.8	1,500	1,867	209,963	2037/3/15
		MORGAN STANLEY	5.45	950	976	109,745	2099/7/15
		NORTHERN TRUST CORP	4.6	800	808	90,843	2099/10/1
		PNC FINANCIAL SERVICES	5.0	750	774	87,062	2099/11/1
		ROYAL BK SCOTLND GRP PLC	7.64	2,700	2,571	289,141	2099/9/30
		ROYAL BK SCOTLND GRP PLC	8.625	1,547	1,686	189,626	2099/12/31
		SANTANDER HOLDINGS USA	4.4	437	442	49,711	2027/7/13
		SOCIETE GENERALE	7.375	500	540	60,712	2099/9/13
		SOCIETE GENERALE	8.0	1,000	1,138	128,029	2099/9/29
		STANDARD CHARTERED PLC	2.67956	4,200	3,588	403,443	2099/7/30
		STANDARD CHARTERED PLC	7.5	675	726	81,676	2099/10/2
		UBS GROUP AG	7.125	600	652	73,397	2099/8/10
		US BANCORP	5.3	1,144	1,221	137,340	2099/10/15
		WELLS FARGO & CO	5.875	2,250	2,491	280,161	2099/12/15
小計						6,164,752	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	ハイブリッド証券等	ALLIANZ SE	3.099	1,800	1,917	247,522	2047/7/6
イタリア	ハイブリッド証券等	ASSICURAZIONI GENERALI	10.125	800	1,089	140,686	2042/7/10
		INTESA SANPAOLO SPA	3.928	513	545	70,399	2026/9/15
		UNICREDITO ITALIANO SPA	6.95	2,700	3,255	420,314	2022/10/31
		UNICREDITO ITALIANO SPA	9.25	800	915	118,241	2099/12/3
オランダ	ハイブリッド証券等	ABN AMRO BANK NV	5.75	200	213	27,549	2099/9/22

銘	柄		当 期 末				償 還 年 月 日
			利 率	額 面 金 額	評 価 額		
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
			千ユーロ	千ユーロ	千円		
スペイン	ハイブリッド証券等	BANCO BILBAO VIZCAYA ARG	8.875	1,600	1,850	238,872	2099/10/14
		BANCO SANTANDER SA	6.75	1,800	1,956	252,519	2099/10/25
		CAIXABANK	6.75	1,000	1,057	136,561	2099/12/13
アイルランド	ハイブリッド証券等	ALLIED IRISH BANKS	7.375	300	322	41,631	2099/12/3
その他	ハイブリッド証券等	AVIVA PLC	6.125	1,100	1,326	171,215	2043/7/5
		BARCLAYS PLC	8.0	650	716	92,488	2099/12/15
		HSBC HOLDINGS PLC	6.0	1,150	1,298	167,674	2099/9/29
		LLOYDS BANKING GROUP PLC	6.375	576	618	79,837	2099/12/27
		XLIT LTD	3.25	615	608	78,596	2047/6/29
小 計					2,284,110		
イギリス	ハイブリッド証券等	BARCLAYS PLC	7.25	723	771	113,253	2099/12/15
		CITIGROUP CAPITAL XVIII	1.18744	1,341	1,204	176,749	2067/6/28
		SANTANDER UK GROUP HLDGS	6.75	1,000	1,047	153,757	2099/12/24
小 計					443,760		
合 計					8,892,623		

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

※償還日が「2099年」の証券は永久債であり、永久債には償還日がないため、仮置きの日付けを入れております。

○投資信託財産の構成

(2017年7月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
優先株	千円 120,183	% 1.2
公社債	8,892,623	91.9
コール・ローン等、その他	663,831	6.9
投資信託財産総額	9,676,637	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (9,177,303千円) の投資信託財産総額 (9,676,637千円) に対する比率は94.8%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レート (各1通貨単位当たり) は、1米ドル=112.43円、1ユーロ=129.09円、1英ポンド=146.75円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年7月18日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	9,813,826,688 円
コール・ローン等	253,679,077
優先株 (評価額)	120,183,172
公社債 (評価額)	8,892,623,425
未収入金	435,322,859
未収配当金	1,504,853
未収利息	101,470,603
前払費用	9,042,699
(B) 負債	531,965,660
未払金	258,464,677
未払解約金	273,500,000
未払利息	983
(C) 純資産総額(A - B)	9,281,861,028
元本	8,573,468,430
次期繰越損益金	708,392,598
(D) 受益権総口数	8,573,468,430口
1万口当たり基準価額(C / D)	10,826円

(注) 期首元本額 15,428,832,115 円、期中追加設定元本額 1,743,754,545円、期中一部解約元本額8,599,118,230円、当期末現在における1口当たり純資産額1.0826円。

(注) 当期末現在において、当マザーファンド受益証券を組み入れているベビーファンドの組入元本額の内訳は、下記の通りです。

<組入元本額の内訳>

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり)	(適格機関投資家専用)	7,170,196,783円
ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし)	(適格機関投資家専用)	1,403,271,647円

○お知らせ

該当事項はありません。

○損益の状況 (2016年7月20日～2017年7月18日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	688,603,794 円
受取配当金	4,303,153
受取利息	684,547,825
支払利息	△ 247,184
(B) 有価証券売買損益	1,531,976,558
売買益	1,786,980,002
売買損	△ 255,003,444
(C) 保管費用等	△ 1,447,135
(D) 当期損益金(A + B + C)	2,219,133,217
(E) 前期繰越損益金	△1,737,725,423
(F) 追加信託差損益金	△ 104,963,426
(G) 解約差損益金	331,948,230
(H) 計(D + E + F + G)	708,392,598
次期繰越損益金(H)	708,392,598

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。